

# エコキャップ運動(2月15日)

## 「エコキャップで世界の子どもにワクチンを！」

府中地区更生保護女性会・豊松地区更生保護女性会から5名の方が来られ、豊松小学校で回収しているペットボトルのキャップを受け取っていただきました。また、みんなが集めたキャップがどのように活用されているのかなどのお話もしていただきました。

たくさんのキャップが集められており、来られた方も驚かれていました。児童の皆さん、地域の皆さん、保護者の皆さん…ご協力ありがとうございました。



みんな真剣にお話を聞きました。

エコキャップについてのお話を聞きました。「捨てたらゴミ、燃やしたら二酸化炭素が発生しますが、小さなキャップでも分けて集めたら資源になります。ペットボトルのキャップは400個で10円、ポリオワクチンは1人分20円。キャップ800個で一人の子どもの命が救えます。」

自分たちが集めたキャップが世界の子どもの命を救うことにつながっていることを実感しました。

「ハチドリのしずく」というお話を読んでいただきました。小さなハチドリができることは小さな事かもしれないけれど、自分にできることを行動することが大きな力につながるというお話でした。みんなでハチドリの行動について考えました。



自分には何ができるのか考え、小さな事でも行動することが大切だということを学びました。これからもエコキャップの回収活動をはじめ、自分にできることを実践していきたいですね。

児童代表あいさつ  
僕は、エコキャップがお金になりワクチンを買うことに使われています。最近とを二年生の時に知りました。最近では、人の命にもつながっていると考えながら集めるようになりました。これからも、自分のできることから行動していきたいです。

